※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楽器を奏でること、曲を歌うこと、音楽を聴くことを通して、音楽の色々な面を体験します。

・楽譜の持っている意味を読み取り、それぞれの音楽の持っている良さを味わって演奏すること、そして皆さんが音楽を少しでも深く知ることが出来れば、と考えています。

２　学習の到達目標

音楽を受け身に感じるのではなく自分自身の力で音楽を表現すること、それが普通のことと感じられるように自らの力量に応じた種々の音楽に慣れ親しむ。そうすることによって、今までとは違った音楽へのアプローチ、感じ方を自分で体験し、感じ取る。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・教材となる作品を知っている、知らないの如何に関わらず、その作品へ積極的に取り組もうとする態度。 ・作品の全体像をどのように捉え、またそれをどのように音としようとしているか。	対象とする音楽の情報を、楽譜や既存の演奏などから感じ取り、それを演奏する際に、必要事項を踏まえて臨もうとする意欲と力。	音楽を受け身に感じるのではなく楽譜や既存の演奏などから感じ取り、歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。	自らの力量に応じた種々の音楽に慣れ親しむ。そうすることによって、今までとは違った音楽へのアプローチ、感じ方を自分で体験し、感じ取る。
評価方法	学習状況の観察	学習状況の観察	演奏の聴取 実技テスト	学習状況の観察 他の生徒たちとのアンサンブルなどの観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	どこかで耳にした親しみのある曲を歌う	［歌うこと］ ・ありがとう ・見げてごらん夜の星を	○	○	○		a：先ずは自主的に歌うことに取り組んでいる。 b：曲の特徴はどの様なことで、何処なのか。それらを踏まえ、感じながら声に出すことが出来ている。 c：表現したいことが歌の形として表れている。	観察 演奏の聴取
	リズムアンサンブル	［器楽演奏］ ・クラッピングとボディーパーカッション	○	○	○		a：自分の体の一部を使い、自分でリズムを感じることを行っている。 b：リズムの特徴や変化を感じ、その表現にはどのような身体的工夫が必要かを感じている。 c：個々人の演奏、そして他者との演奏、それらの違いを踏まえながら演奏出来ている。	観察 演奏の聴取
	音楽とダンス	［鑑賞］ ・ボレロ（ラヴェル）＋バレエ ・春の祭典（ストラヴィンスキー）＋バレエ	○			○	a：リズムの特徴とそれぞれの楽器の音色を理解しようとしている。 d：これらの曲がバレエ作品として表現されたものを鑑賞し、音楽と身体表現の結び付きを感じることが出来ている。	観察 ワークシート
後期	より親しみ曲を歌う	［歌うこと］ ・少年時代 ・翼をください ・Oh Happy Day	○	○	○		a：自主的に歌うことに取り組んでいる。自分の歌声と他のパートのアンサンブルを味わっている。 b：各曲の特徴はどの様な点で、何処なのか。それらを踏まえ、感じながら声に出すことが出来ている。また、他のパートと自らのパートの関係性を理解しようと努力して演奏に繋げている。 c：表現したいことが曲のアンサンブルの形として表れている。	観察 演奏の聴取

※令和３年度以前入学生用

	楽器で演奏する	［器楽演奏］ ・見げてごらん夜の星を （今回はグロッケンを用いて） ・木星 ・さくら	○	○	○		a:曲に相応しい楽器の選択をイメージ出来ている。 b: 各フレーズや曲全体をどの様に奏でることが相応しいかをイメージしながら演奏に結び付けている。 c:理想とする演奏に近づくことを倦むことなく出来ている。	観察 演奏の聴取
	観て、聴いて愉しむ音楽	［鑑賞］ ・オペラ～ミュージカル （時代の流れに沿って代表曲を鑑賞し、それらの特徴を捉える）	○			○	a:個々のオペラやミュージカル作品の、時代、国（言語）、演出などの違いを感じている。 d:歌、器楽、美術、舞踊、そして演出等々、あらゆる要素の結び付きの妙を感じている。作品に興味を抱いたり感動を抱いた心が、これまでの視点とは異なった姿勢を生み、芸術に触れる気持ちに変化をもたらしている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:表現のための工夫
c:表現力　d:総合理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。